

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成20年7月31日

【事業年度】 第29期(自平成19年4月1日至平成20年3月31日)

【会社名】 株式会社アコーディア・ゴルフ

【英訳名】 Accordia Golf Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 竹生道巨

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号 渋谷クロスタワー

【電話番号】 03-6688-1500(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員 大田研一

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号 渋谷クロスタワー

【電話番号】 03-6688-1506(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員 大田研一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成20年6月27日に提出いたしました第29期(自平成19年4月1日至平成20年3月31日)の有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第4 提出会社の状況

3 配当政策

6 コーポレート・ガバナンスの状況

第5 経理の状況

2 財務諸表等

(2) 主な資産及び負債の内容

負債の部

d 長期借入金

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第4 【提出会社の状況】

3 【配当政策】

(訂正前)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要課題のひとつとして位置付け、企業グループ全体の収益力強化と将来はそれに伴う継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とし、株主の皆様へのご期待に応えていきたいと考えております。

当社の配当原資は、子会社からの配当に依存する割合が大きいことから、連結企業グループの損益を基準に配当政策を立案する方針であります。また、当社の配当政策は、各事業年度における利益水準、次期以降の見通し、ゴルフ場買収、設備投資に係る資金需要及び内部留保の状況等を総合的に勘案した上で、株主への利益配当を実施していく方針であります。なお、平成14年12月にゴルフ場運営事業を開始して以来、投資機会に恵まれ、利益を内部留保の上、事業拡大の投資として活用してきたため、過年度において利益配当は実施しておりませんでした。

当事業年度の配当につきましては、既存コースの業績が堅調に進捗し、安定的な収益基盤が確立したこと、格付け取得などで財務の健全性も向上したと判断したこと、また、当面は、ゴルフ場の買収を継続することなどを総合的に勘案し1株当たり1,000円とさせていただきます。

<後略>

(訂正後)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要課題のひとつとして位置付け、企業グループ全体の収益力強化と将来はそれに伴う継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とし、株主の皆様へのご期待に応えていきたいと考えております。

当社の配当原資は、子会社からの配当に依存する割合が大きいことから、連結企業グループの損益を基準に配当政策を立案する方針であります。また、当社の配当政策は、各事業年度における利益水準、次期以降の見通し、ゴルフ場買収、設備投資に係る資金需要及び内部留保の状況等を総合的に勘案した上で、株主への利益配当を実施していく方針であります。なお、平成14年12月にゴルフ場運営事業を開始して以来、投資機会に恵まれ、利益を内部留保の上、事業拡大の投資として活用してきたため、過年度において利益配当は実施しておりませんでした。

当事業年度の配当につきましては、既存コースの業績が堅調に進捗し、安定的な収益基盤が確立したこと、格付け取得などで財務の健全性も向上したと判断したこと、また、当面は、ゴルフ場の買収を継続することなどを総合的に勘案し1株当たり1,000円とさせていただきます。

また、毎事業年度における配当の回数については、当面の間年一回とさせていただきますと考えております。

<後略>

6 【コーポレート・ガバナンスの状況】

(訂正前)

<前 略>

(7) 社外取締役及び社外監査役との関係

当社と当社の社外取締役及び社外監査役との間には、特別の利害関係はありません。

<後 略>

(訂正後)

<前 略>

(7) 社外取締役及び社外監査役との関係

当社と当社の社外取締役及び社外監査役との間には、特別の利害関係はありません。

なお、社外取締役澤田勲、片山典之及び社外監査役對田恒雄は、当社の株式を所有しております。所有株式数につきましては、「5 役員の状況」をご参照ください。

<後 略>

第5 【経理の状況】

2 【財務諸表等】

(2) 【主な資産及び負債の内容】

負債の部

(訂正前)

d 長期借入金

相手先	金額(千円)
(株)みずほコーポレート銀行	9,862,402 (786,480)
農林中央金庫	9,082,402 (726,480)
(株)三井住友銀行	8,734,789 (700,157)
住友信託銀行(株)	7,522,388 (604,477)
中央三井信託銀行(株)	4,179,104 (335,820)
その他	<u>28,372,912</u> (1,670,582)
計	<u>67,754,000</u> (4,824,000)

< 後 略 >

(訂正後)

d 長期借入金

相手先	金額(千円)
(株)みずほコーポレート銀行	9,862,402 (786,480)
農林中央金庫	9,082,402 (726,480)
(株)三井住友銀行	8,734,789 (700,157)
住友信託銀行(株)	7,522,388 (604,477)
中央三井信託銀行(株)	4,179,104 (335,820)
その他	<u>20,872,912</u> (1,670,582)
計	<u>60,254,000</u> (4,824,000)

< 後 略 >